

弘前城薪能

開催のお知らせ

今夏、市民・文化団体・地域企業・行政が力を合わせ、藩政時代から弘前でも親しまれてきた日本の伝統芸能・能・狂言の公演を開催します。

▼とき 7月10日(土)、開場…午後4時30分／開演…午後5時45分／終演…午後8時20分

▼ところ 弘前城植物園(下白銀町)
※雨天時は市民会館で開催。

▼観覧料

S席		7,000円
S席 親子優先席	大人	5,000円
	大学生以下	2,000円
A席	一般	5,000円
	大学生以下	2,000円
晴天時観覧席	一般	2,000円
	大学生以下	1,000円

※全席指定／S・A席当日券は各500円増／未就学児の入場はご遠慮ください／晴天時観覧席は晴天時に当日券のみ販売します／当日券は公演会場のみで販売します。

▼チケット販売所 ローソンチケット(Lコード22349)、弘前芸術鑑賞会、さくら野弘前店、中三弘前店、まちなか情報センター、ヒロロ1階インフォメーション、アップルウェーブ、市立観光館、弘大生協シェア・フェリオ

※S席親子優先席はヒロロのみで販売します。

詳しくは公式ホームページ(右記QRコード)でご確認ください。



■問い合わせ先 弘前城薪能実行委員会事務局(文化振興課内、☎40-7015)

協賛・ボランティアを募集中

弘前城薪能の開催に協賛していただけの協賛企業・団体・個人のほか、公演の運営を手伝ってくださるボランティアスタッフを募集しています。



弘前藩歴代藩主が愛し、今も受け継がれる伝統芸能・能楽

武家のたしなみとして江戸時代に諸国に広まった能楽を、弘前藩の歴代藩主は愛し、能楽流派の活動を手厚く庇護しました。

弘前城本丸に能舞台が築かれた1674(延宝2)年、「お能初め」が開催され、藩主や武士のほか医者や町民も観覧しました。その伝統は300年以上たった現代まで受け継がれ、市内では観世流・宝生流・喜多流の3流派が今も活動を続けています。

薪の炎に照らされた幻想的な舞台

弘前城二の丸辰巳櫓を背景に、揺らめく薪の炎が闇夜に能舞台を浮かび上がらせます。その舞台上では、鋭い能管(横笛)の音色や会場を包む鼓の響きとともに、華やかな衣装をまとった演者による幽玄な舞が披露されます。

今回の公演では、2つの能と1つの狂言を上演します。能演目では、精霊や亡者の霊が現世の人の前に現れ、胸に秘めた愛、悲しみの感情や思い出を語ります。狂言演目は能演目の間に上演され、能とは異なりこっけい味を描いた喜劇を演じます。

未来と担う次の世代への文化の継承

市の文化を次の世代が引き継ぐために、本公演では文化の魅力に触れる機会を創出します。

また、県内主要メディアを通じた市内大学の学生による公演PR事業や、公演運営へのボランティアの参加など、若い世代が伝統芸能に触れやすい環境づくりに取り組みます。

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、公演が急遽中止となる場合があります。

※来場の際は感染症対策にご協力ください。

※本公演は自治総合センターの令和3年度コミュニティ助成事業(宝くじの受託事業収入を財源として実施する宝くじの社会貢献広報事業)として、宝くじの助成金を活用して開催します。



今月の
納税

固定資産税 第1期
軽自動車税(種別割) 全期

納期限
5/31(月)

納税には便利な口座振替を
ぜひご利用ください。

